

ChatGPT を Buddycom で利用可能に 現場の AI 活用を促進するための第一弾として

株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：平岡 秀一）が提供するデスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」は、2023年7月3日より、様々な AI とつながる Buddycom AI の提供を開始すること、またその第一弾として OpenAI 社が開発した「ChatGPT」と連携することをお知らせします。



ChatGPT をはじめとする大規模言語モデル（以下：LLM）を活用し、現場の業務効率化を目指すお客様向けに、2023年7月3日より「Buddycom AI」として様々な生成系 AI と連携できる機能^{※1}をリリースします。ChatGPT は OpenAI 社が開発・公開する LLM を用いた高度な対話型 AI であり、Buddycom から ChatGPT への質問ができるようになりました。

今後は ChatGPT をはじめとした様々な生成系 AI との連携のほか、お客様が社内情報を学習させることができるカスタマイズ環境の提供を行います。

Buddycom AI のご利用をご希望の方はこちらよりお申込みください：<https://forms.gle/UgriYvEJTzTqYeU67>

■ Buddycom AI とは？

Buddycom AI とはあらゆる AI を活用しデスクレスワーカーの日々の業務をアシストする機能の総称です。

■ ChatGPT 連携機能でできること

ChatGPT は OpenAI 社が開発・公開する高度な対話型 AI です。Buddycom と連携することで、スマートフォンを操作することなく音声で ChatGPT へ質問を行うことができ^{※2}、回答も合成音声で得ることができます。ご希望のお客様は上記 URL よりお申込みいただくことで制限環境下で無償でご利用いただけます。制限を緩和したいお客様は通常プランのご契約に加え、オプションとして 1,500 円/ユーザー（税抜）のご契約をいただくことで利用できます。

■ 開発の背景

Buddycom はデスクレスワーカー向けのサービスとして 600 社以上（2023 年 2 月末時点）のおお客様にご導入をいただいております。Buddycom に蓄積される膨大なデータ^{※3} は現場のリアルな情報であり、業務改善・技能継承・売上増加などのために活用したいというお声をお客様よりいただいております。

一方で OpenAI 社が 2022 年 11 月に公開した ChatGPT は、公開 2 か月で世界のユーザー数が 1 億人に達するほど急速に拡大しており、中でも日本は国別トラフィックシェアで米国・インドに次いで 3 位と上位に位置^{※4}しています。国内の市場規模は 2027 年度には約 6,905 億円まで拡大されると予測^{※5}されており、Buddycom をご契約いただいているお客様も今後の業務で利用することが推測されます。

このような状況の中、お客様のこれまでのニーズと最新の技術普及にいち早く対応するべく今回の機能開発に至りました。

■ 今後の展開

Buddycom AI は今後、市場とおお客様のニーズに合わせ、以下の開発に取り組んでまいります。

- ・ 企業固有のマニュアルやルールを学習させることができる専用環境の提供
- ・ 弊社のセールスパートナーやお客様が独自に開発した GPT モデルと Buddycom の連携
- ・ 現場で働くお客様が Buddycom に質問することで、適切な業務指示を受けることの実現
- ・ 業務終了後に、その日に多く質問のあった内容や改善事項の分析と通知

■ 業績に与える影響

2023 年 8 月期の業績予想に与える影響は軽微と考えます。今後開示すべき事項が生じた場合は、速やかにお知らせします。

※1 当社は OpenAI 社と API での利用契約を締結しているため、ユーザー企業の利用者が入力するプロンプトのデータは OpenAI 社の API データ使用ポリシーに基づき、AI の学習用データとして利用されることはありません（OpenAI 社は管理のためデータを 30 日間保有します）。

※2 音声で質問を行うには、Buddycom の Talk Enterprise, Livecast Enterprise ブランの契約が必要です。

※3 Buddycom では 2~4 秒の短い会話が大量に行われており、1 日の発話件数が 10 万件以上にもなるお客様もいらっしゃいます。

※4 2023 年 5 月 26 日 株式会社野村総合研究所「日本の ChatGPT 利用動向（2023 年 4 月時点）」より

※5 2023 年 6 月 15 日 株式会社シード・プランニング「2023 年版 対話 AI ビジネスの現状と将来展望」より

■ Buddycom とは (<https://www.buddycom.net/ja/index.html>)



デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報（IoT）に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。

利用実績では、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種でのコミュニケーション手段として利用されています。

株式会社サイエンスアーツ について

サイエンスアーツは、「世界の人々を美しくつなげる」をミッションとして掲げ、デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」を提供しています。「Buddycom」は既に 600 社を超えるお客様の現場で活用されており、音声のみならず、テキスト、画像、動画、位置情報、AI などを活用することにより、あらゆる業種・業界のミッションクリティカルな現場において、新たなチームコミュニケーションを可能にするホリゾンタル×SaaS アプリケーションです。

◆ お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ

【所在地】 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル 7 階

【代表取締役社長】 平岡 秀一

【資本金】 5,164 万円

【設立】 2003 年 9 月

【E-mail】 pr@science-arts.com

【Web サイト】 <https://www.buddycom.net/>